

奨励賞

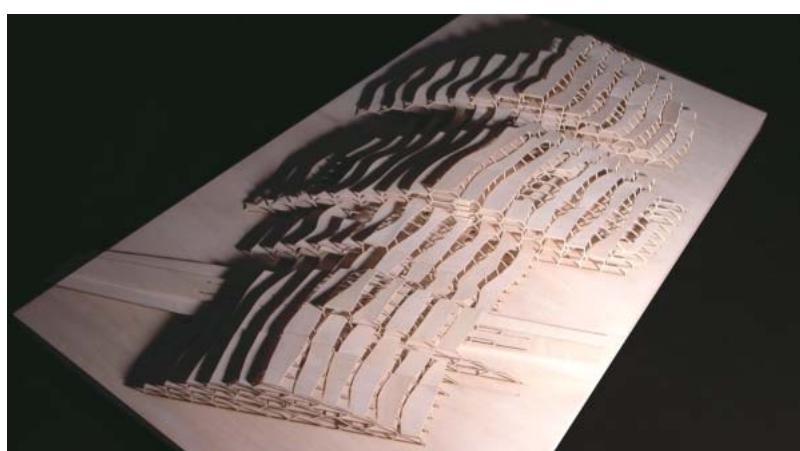
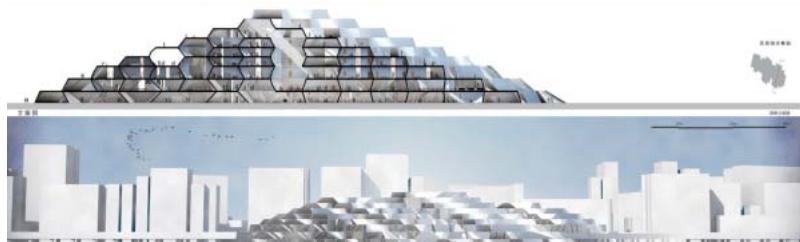
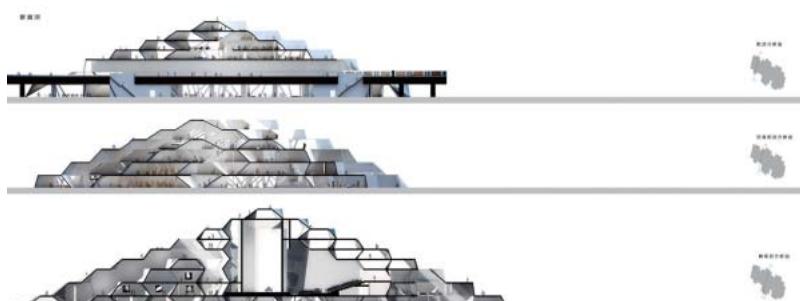


地形都市のためのスタディ

Study for the Topographic City

坂爪 佑丞 (さかづめ ゆうすけ)

千葉大学 工学部 デザイン工学科建築系

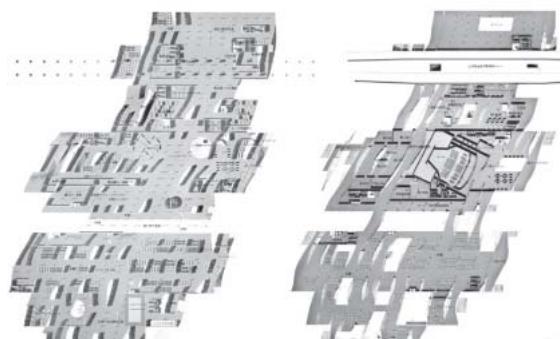


本計画では建築をかたちづくる原理を新たに発見し、地形のインフラのような建築を再開発予定地につくりました。

タワーを建てて緑地を開放するという紋切型の再開発計画に変わる、開かれた公共空間をもつ複合施設の提案です。

異なるプログラムのあいだを登ったり下ったりできる山とその結果生じた吹き抜けである谷によって、空間性を保持した公共空間をあわせもつ都市のような、地形のような建築をめざしました。

都市、建築における新たな公共空間の可能性を提示する、地形都市のためのスタディです。



講評 水平垂直方向に効率よく空間を積層するという、当然ともいえる建築行為そのものに疑問を抱き、自然曲面壁からなるメガストラクチャー六角形断面チューブを、隆起した台地を形成する斜面のように積層していくことによって人工的な地形を創出、魅力ある公共スペースのあり方を提示した作品である。表層的なデザイン操作に留まることなく、空間を構成する原理から構築していくという高い志をもった意欲作であり、新しい都市公共空間の可能性を明快に表現している内容が高く評価された。

(審査員：関谷 和則)